

---

# 早来中学校校舎再建 に関する説明会

---

平成31年3月26日

---

# 取り組み状況

平成31年1月9日～3月26日

## ①説明会 延べ15回

議員説明会1回、教職員説明会1回、PTA/コミスク説明会1回  
住民保護者説明会7回、地区説明会5回（追分/安平/早来）

## ②考える会 6回

学校について、基本コンセプト、防災対策、機能検討等

## ③広報 3回（月1回）

広報あびらへの折込（全住民に対して取り組み状況を周知）

## ④アンケート 8回

説明会毎7回、小中保護者配布1回、教職員1回

# 住民/保護者/教職員説明

## 課題

- ◎説明会参加者が少ない
- ◎直接伝える機会が少ない

## 解決

- ◎新年度のPTA総会等で説明の時間をもらう（20分程度）
  - 4月16日(火) 遠浅小PTA総会
  - 4月18日(木) 安平小PTA総会
  - 4月19日(金) 早来小PTA総会
  - 5月7日(火) 町教研総会（教職員対象）
- ◎自治会にて説明を行う（5分程度）
- ◎現場の先生と意見交換を行う
- ◎児童生徒へのアンケートを行う（説明は授業時間をもらうのが困難）
- ◎SNS等を使った発信を行う
  - あびらチャンネル・・・取り組み状況の報告
  - SNSの作成発信・・・公式Facebook、公式Twitter
  - ※管理は教育委員会、管理者は総合教育専門員

---

**あらためて**  
**「小中一体校舎」**  
**「義務教育学校」**  
**について説明します**

---

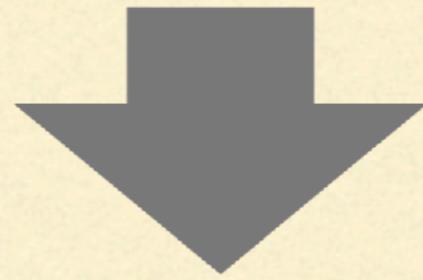
# 平成30年9月6日 北海道胆振東部地震



---

**早来中学校の校舎が使えない**

**早来小学校も老朽化が進む**



**早来中学校再建にあわせて  
小中一体の校舎を建設**

**義務教育学校**

---

# 小学校の築年数

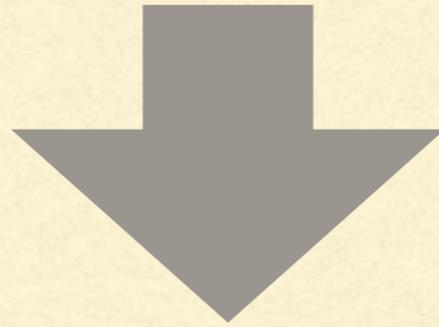


学校施設改築の平均サイクルは42年（全国）

※長寿命化で対応

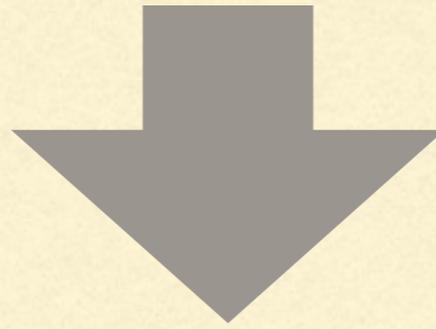
---

# 早来中学校の校舎が使えない



- 案1) 改修して使用 ⇒ 老朽化も進み改修費用がかかる
  - 案2) 同じ場所に建替 ⇒ 高台にあり地盤の被害が大きい
  - 案3) 町内別場所で建替 ⇒ 市街地に広い町有地がない
  - 案4) 小学校隣に建替 ⇒ グラウンドがなくなる
  - 案5) 中学校のみ建設 ⇒ 小学校建替時に経費がかかる  
小中一環教育が非効率
-

# 早来中学校の校舎が使えない



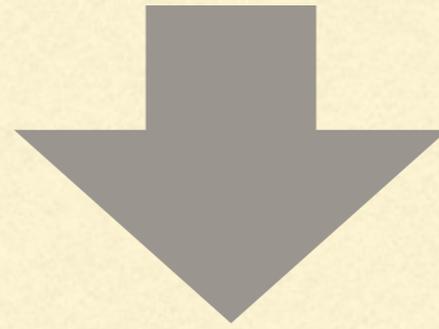
案1) 改修して使用 ⇒ 老朽化も進み改修費用がかかる

**改修ではなく建替とする**

案2) 同じ場所に建替 ⇒ 高台にあり地盤の被害が大きい

**別場所に新築で建て替える**

# 早来中学校の校舎が使えない



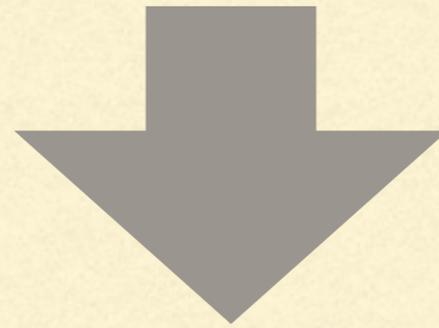
- 案3) 町内別場所で建替⇒ 市街地に広い町有地がない  
案4) 小学校隣に建替 ⇒ グラウンドがなくなる

**新たに土地を取得する**

- 案5) 中学校のみ建設 ⇒ 小学校建替時に経費がかかる  
小中一環教育が非効率

**小中一体型校舎とする**

# 早来中学校の校舎が使えない



## 早来中学校の再建にあわせて 小中一体型の校舎を建設

- 案1) 小中一体型の小学校・中学校（既存の学校制度）  
⇒ デメリットがなくメリットは少ない
- 案2) 小中一体型の義務教育学校  
⇒ デメリットの懸念あり（工夫により改善可能）  
⇒ メリットが大きい（教育内容/教員配置/建設費）

## 小中連携、小中一貫、小中一貫教育制度の関係

### 小中連携教育

小・中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

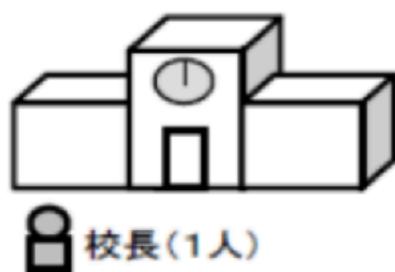
### 小中一貫教育

小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を目指す教育

#### ①義務教育学校

・新たな学校種(一つの学校)  
⇒一人の校長、  
一つの教職員組織

修業年限:9年  
(前期課程6年+後期課程3年)

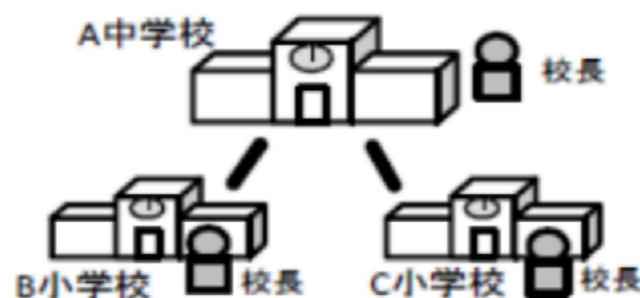


新しい学校

#### 小中一貫型小学校・中学校

・組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態  
⇒それぞれの学校に校長、教職員組織

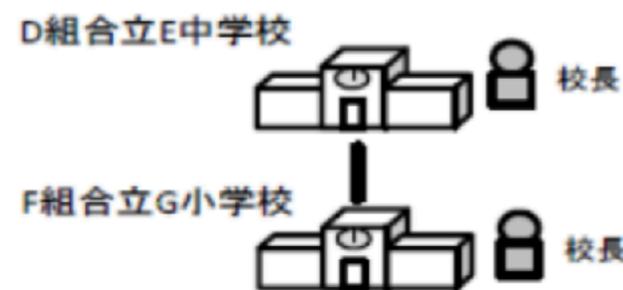
#### ②併設型小学校・中学校 (同一の設置者)



※一貫教育にふさわしい運営体制の整備が要件

例・総合調整を担う校長を定める  
・学校運営協議会の合同設置  
・校長等を併任

#### ③連携型小学校・中学校 (異なる設置者)



※併設型小・中学校を参考に適切な運営体制を整備すること

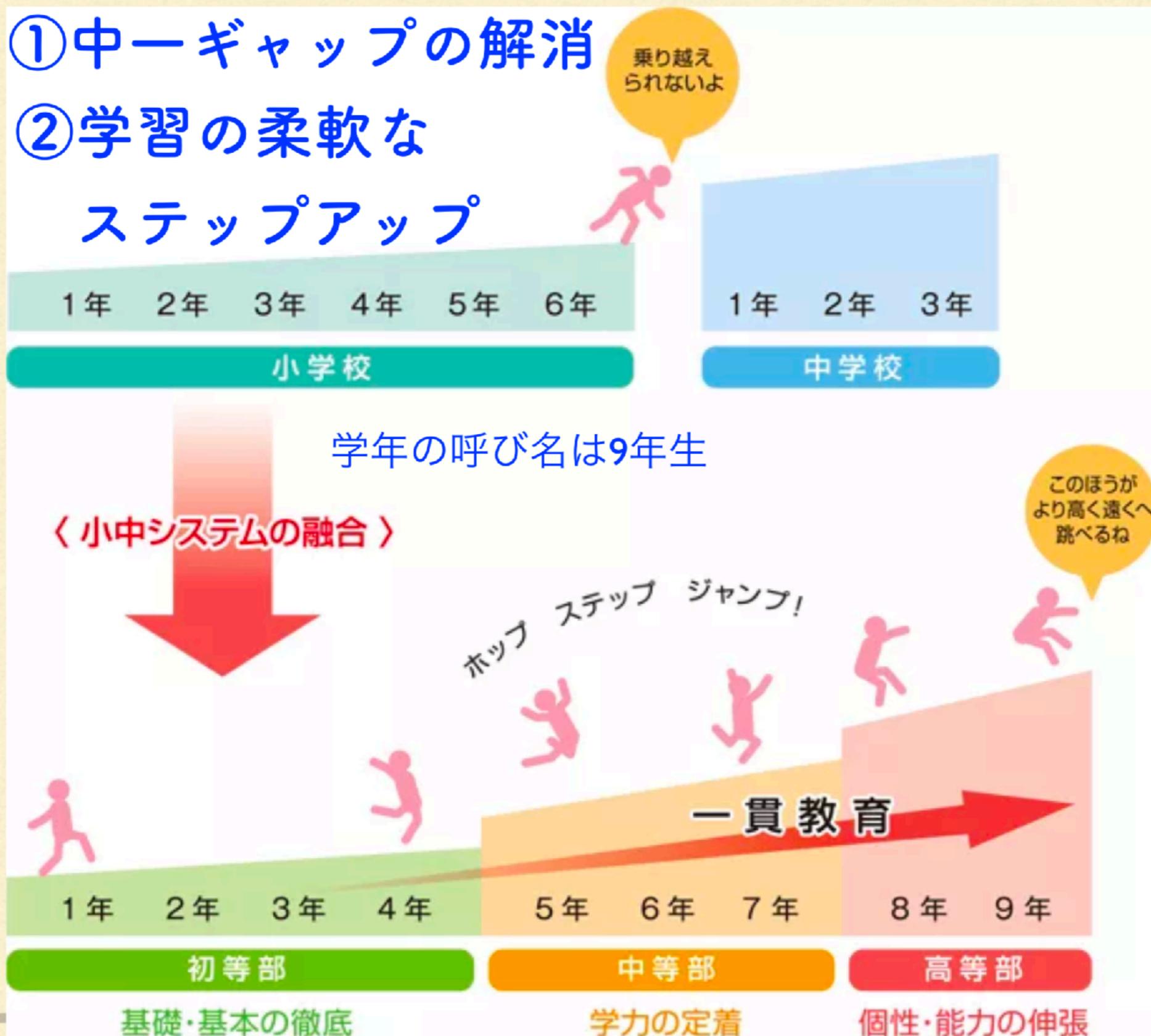
※①②③いずれも施設の形態は問わない。

追分は「小中一貫型小学校・中学校」の『②併設型小学校・中学校』

Q5 義務教育学校で何のメリットがあるの？

A2 ①中一ギャップの解消

②学習の柔軟な  
ステップアップ



|             | 早来小学校<br>存続/分離 | 小中一貫校            |        |
|-------------|----------------|------------------|--------|
|             |                | 小中一貫型<br>小学校/中学校 | 義務教育学校 |
| 小中学校の教育内容連携 | △              | ○                | ○      |
| 小中学校の交流     | △              | ○                | ○      |
| 教科担任の乗り入れ   | △              | ○                | ◎      |
| 先生の人数（加配）   | ×              | ×                | ◎      |
| 建設費（総額/補助率） | ×              | ○                | ◎      |
| 建物の充実（教育環境） | ▲              | ○                | ◎      |
| 今後の学校のあり方   | ▲              | ○                | ◎      |

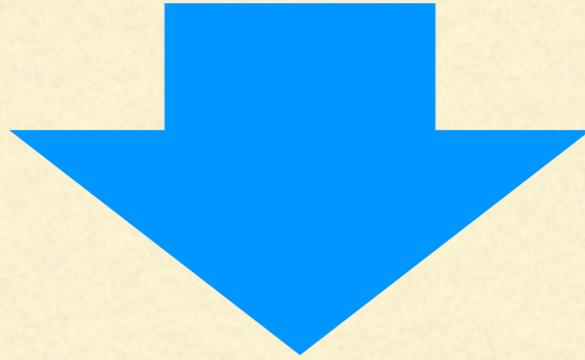
|            | 平成27<br>年度 | 平成28<br>年度 | 平成29<br>年度 | 平成30<br>年度 |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 中学校        | 10,484     | 10,404     | 10,325     | 10,270     |
| 小学校        | 20,601     | 20,313     | 20,095     | 19,892     |
| 義務教育<br>学校 | —          | 22         | 48         | 82         |

平成35年度以降

義務教育学校100校、小中一貫校525校（文部科学省）

---

# なぜ早来小学校と一緒にするの？ なぜ義務教育学校なの？

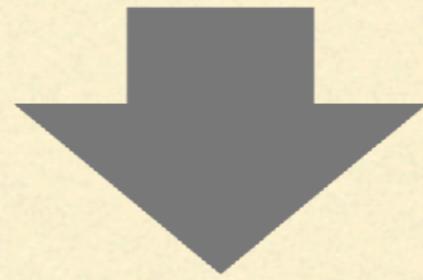


- 施設の耐用年数が限界に近づいている
  - 学校の①教育の充実②教育環境の充実  
③建設コストの効率化では、小中一貫の義務教育学校が優れている
  - 全国的に新設校は小中一貫の義務教育学校が増えている（今後、さらに増加する）
-

---

**早来中学校の校舎が使えない**

**早来小学校も老朽化が進む**



**早来中学校再建にあわせて  
小中一体の校舎を建設**

**義務教育学校**

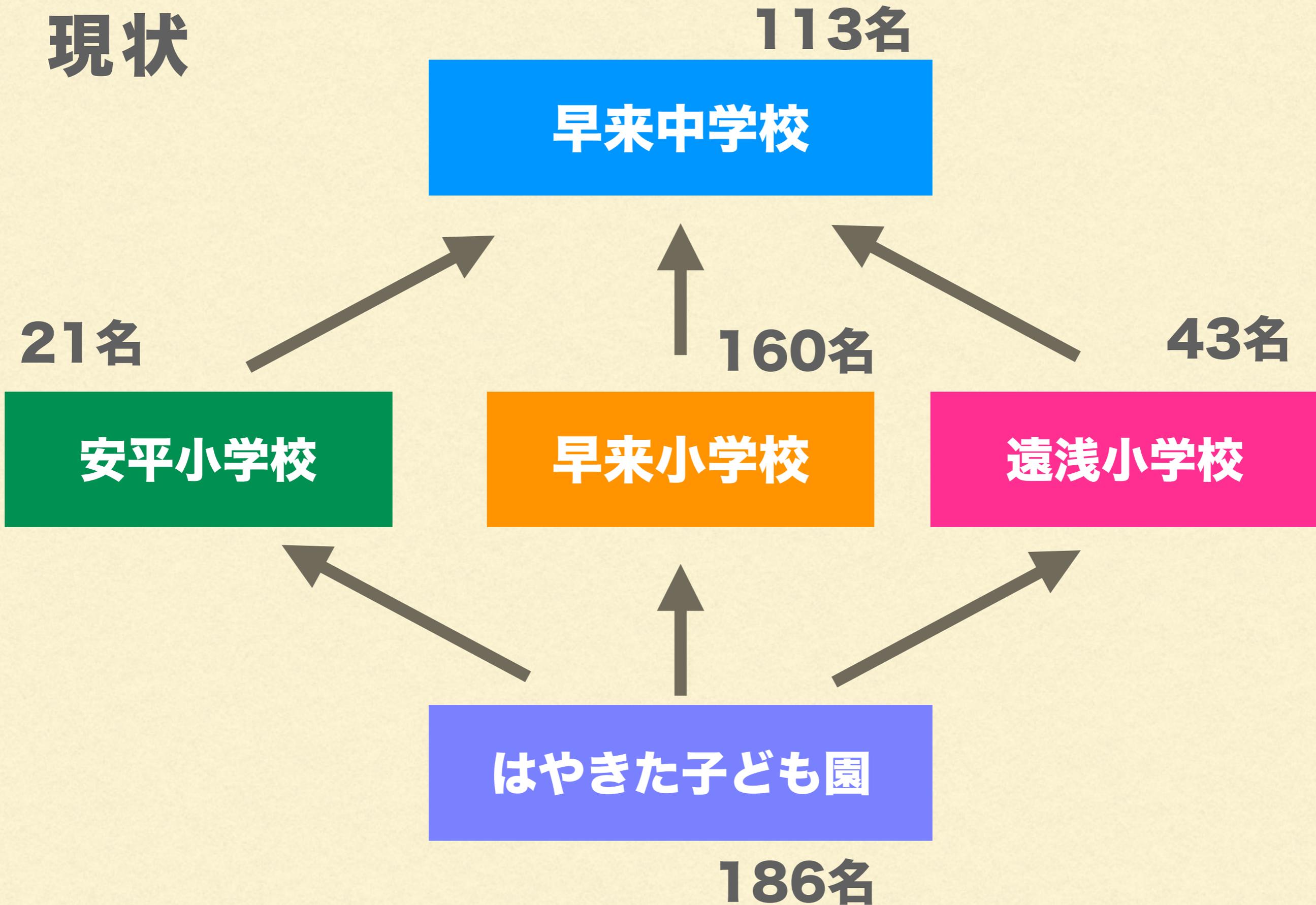
---

---

**安平小学校と遠浅小学校は  
どうなるの？**

---

# 現状



新設後

新築（義務教育学校）

273名

早来中学校  
早来小学校

築40年

築40年

安平小学校

遠浅小学校

21名

43名

希望しても行けない（現状）  
※子ども園と中学校は同じ

同じ早来地区内で  
教育環境に大きな違いが出る

**新築（義務教育学校）**

**早来中学校  
早来小学校**

**築40年**

**築40年**

**安平小学校**

**遠浅小学校**

**21名**

**教育環境を選択できる**

**43名**

**同じ早来地区内で  
教育環境に大きな違いが出る**

# ＜ 学校選択制 ＞

## 2021年4月導入を目処に検討

### 検討委員会の設置

#### 【 検討委員（案） 】

|      |   |                       |
|------|---|-----------------------|
| 学校   | ⇒ | 早小、安平小、遠浅小、子ども園       |
| コミスク | ⇒ | コミスク代表1名              |
| PTA  | ⇒ | PTA代表1名（子ども園は2名-地区1名） |
| 地域   | ⇒ | 自治代表1名、PTAのOB         |
| 委員会  | ⇒ | 学校教育GL、総合教育専門員        |

#### 【 流れ（案） 】

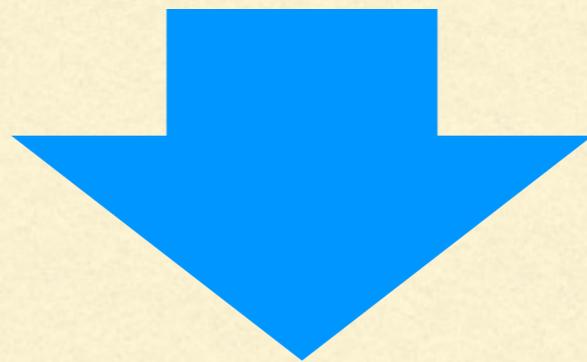
|           |     |                 |
|-----------|-----|-----------------|
| 1回目（4月）   | ・・・ | 顔合わせ、意見交流（課題挙げ） |
| 2回目（5月中旬） | ・・・ | 課題検討、アンケート作成    |
| 3回目（5月下旬） | ・・・ | アンケート作成、具体的方策   |
| 4回目（6月中旬） | ・・・ | アンケート結果考察、具体的方策 |
| 5回目（7月上旬） | ・・・ | 学校選択制概要検討       |
| 6回目（7月下旬） | ・・・ | 学校選択制概要決定       |

---

# 安平小/遠浅小統廃合について

現時点では存続

住民/保護者の意向を参考に教育委員会で判断



学校選択制導入により地域の学校に進学を希望する  
児童が10名程度になった場合、何らかの判断を行う

---

---

# 新しい学校について

---

社会が変わっても大切にしたいもの  
時代にあわせて必要になってくるもの

安平町では **学校って何？**  
**学校ってどんな場？**

どんな学校にしたいのか？

どんな未来をつくるのか？

---

# 新しい学校を考える会

『保護者・地域住民と学校を考える会です』

## <趣旨>

新しい学校を保護者、地域住民等と一緒に考え、広く意見を交わし、学校づくりに生かす

## <対象>

早来地区小中学校保護者、地域住民、趣旨に賛同する方

## <内容>

- ・新しい学校のコンセプトづくり
- ・新しい学校への意見、提案

※教育委員会への提言や意見で決定権はありません

## <頻度>

3月までは月2回程度、4月以降は年5～6回

---

# 自分が“世界”と出会う場所

スポーツ

夢

テクノロジー

本物

学び

価値

コミュニティ

考え

みんなの学校

自然

地域

文化

人

# 『 自分が“世界”と出会う場所 』

安平町の

「自然」 「地域」 「文化」 「人」 に触れ、

支え、支えられる中で、

学校を通して 「スポーツ」 「テクノロジー」 や

「異年齢、多世代」 の人達、

たくさんの 「本物」 と出会い、

さらに

「色々な考え」 「多様な価値観」 「多くの学び」

「夢」 とともに出会い、

“世界”に生き、“世界”へと羽ばたいていく

---

# 自分が“世界”と出会う場所

スポーツ

夢

どんな機能

価値

コミュニティ

校

考え

自然

地域

文化

人

**第4回  
新しい学校を  
考える会  
平成31年2月16日**



**「世界に出会う  
場所」の機能を  
挙げる**

## 健康・スポーツ

- ・ 体育館（アリーナ）
- ・ 保健センター
- ・ 学食

## 文化

- ・ 音響設備（ホール）
- ・ 図書館
- ・ 博物館
- ・ 和室
- ・ Café
- ・ 農耕
- ・ 乗馬部

## 事業施設

- ・ 公民館
- ・ ボランティアセンター
- ・ 社会福祉協議会
- ・ こども園（5歳児）
- ・ 学童/児童館

## 学校（施設充実）

- ・ 快適な学習環境
- ・ 余裕のある教室数
- ・ 広さ可変な教室
- ・ 大画面教室

お店体験

防災拠点（宿泊）

# 防災拠点（宿泊）

## 空間

## ライフライン

## 居場所

- ・ 避難所開放の際、多様な空間が必要  
（和室、教室、調理、荷物置き）
- ・ 避難所でのプライバシー確保
- ・ 防災倉庫（拠点）の設置
- ・ 電源の確保→エネルギー問題と関連  
（自家発電、ディーゼル発電機）
- ・ 水の確保（井戸の採掘）
- ・ 子どもの遊び場所確保  
（子ども園と学童が設置されると解消されるか）

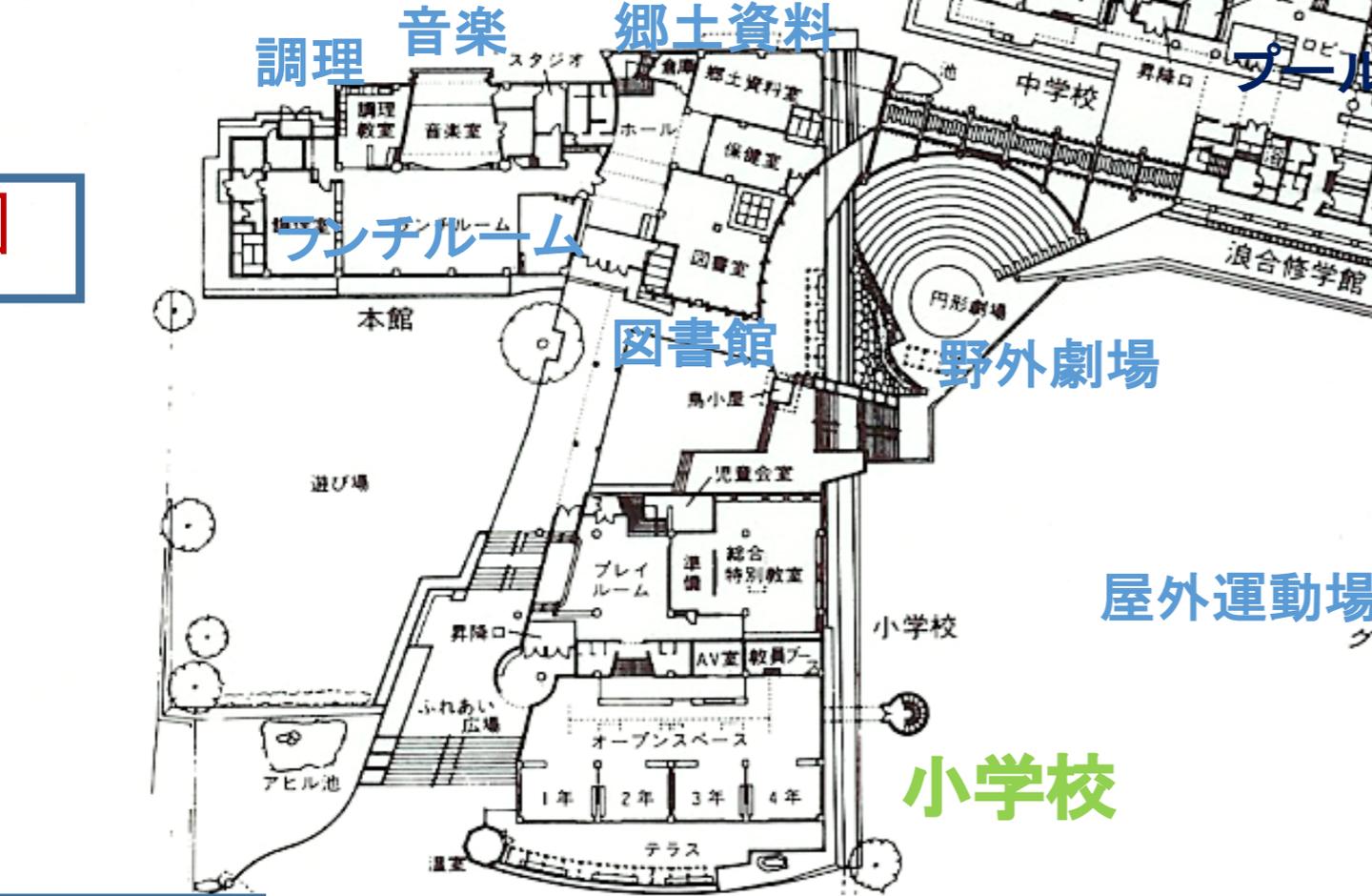
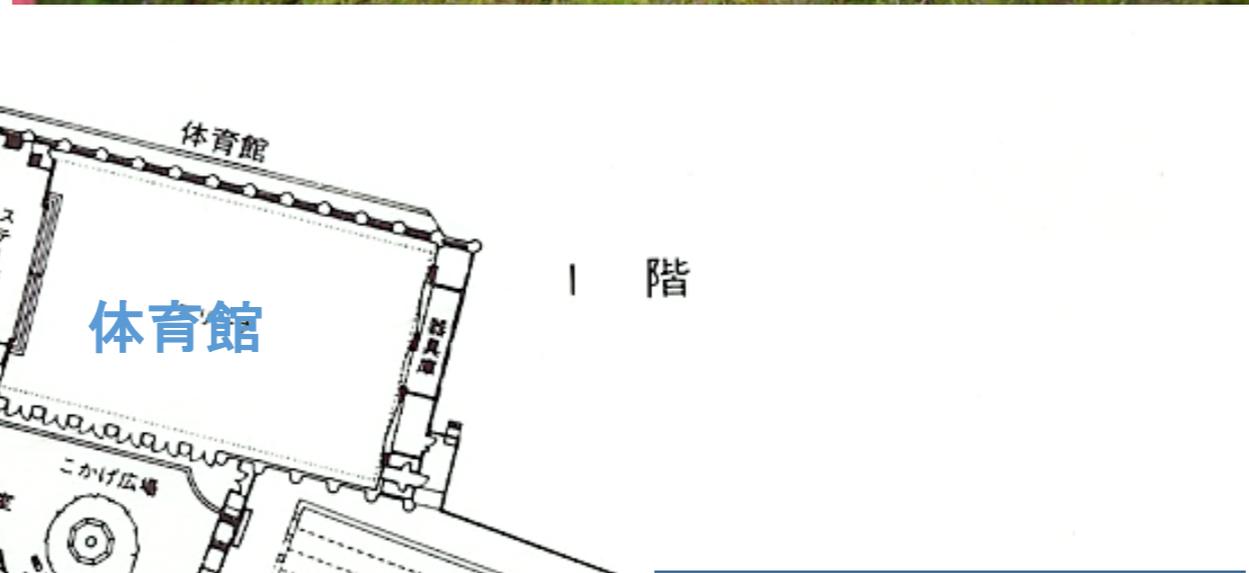
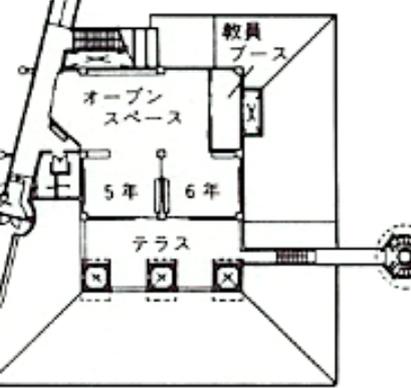


公民館ホール。児童・生徒も活用する。

複合教育文化施設

「アークス」All Persons' School





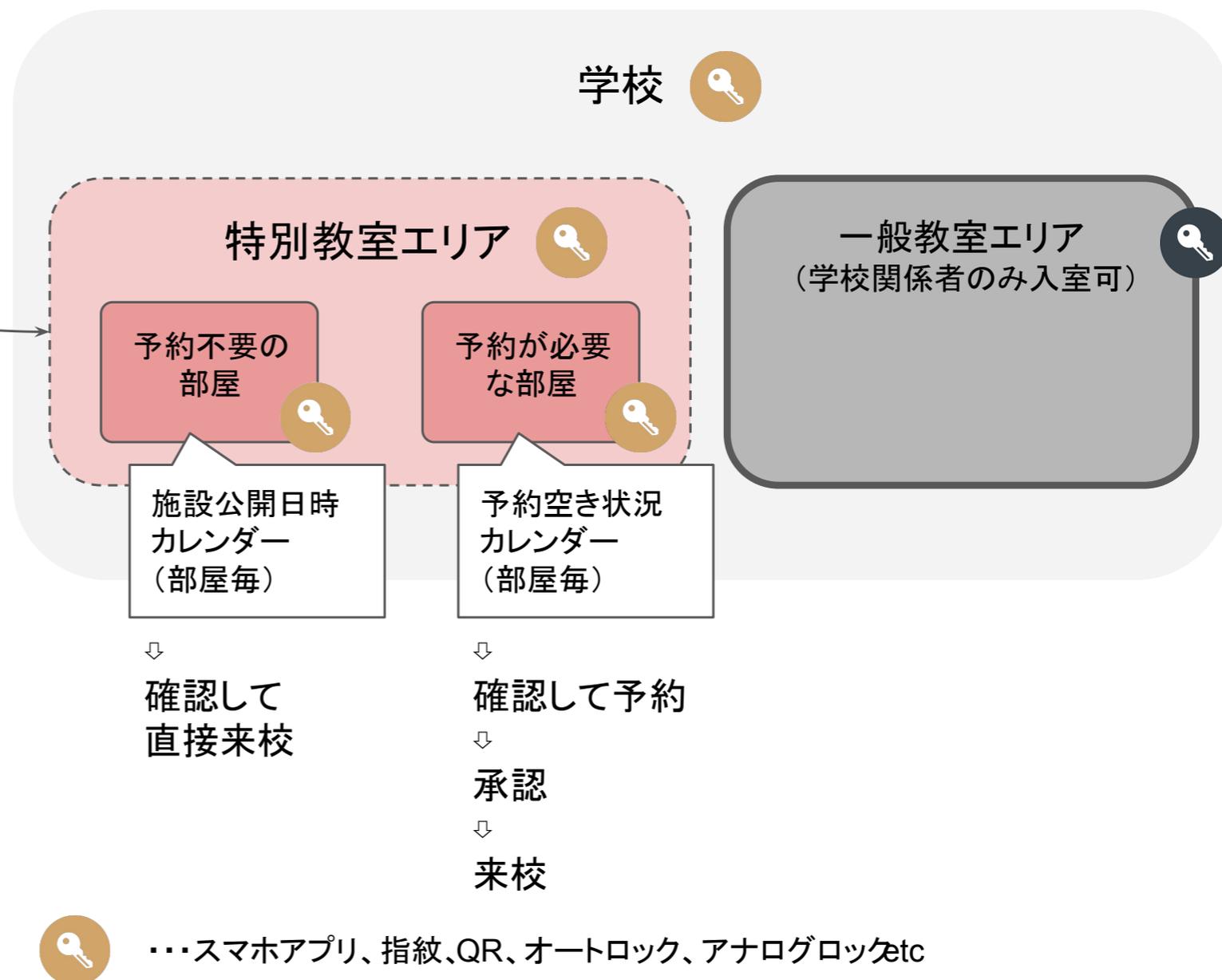
村役場

浪合村立浪合小中学校(長野)  
〒370-1

高齢者コミュニティセンター

Ph1.

# 学校がまちに、まちが学校に。学校施設を、町民が使える



Ph2.

# まちの情報、学校の情報、町民だれにでも届く

それぞれの権限の  
投稿アカウントを配布



企業投稿

役場投稿



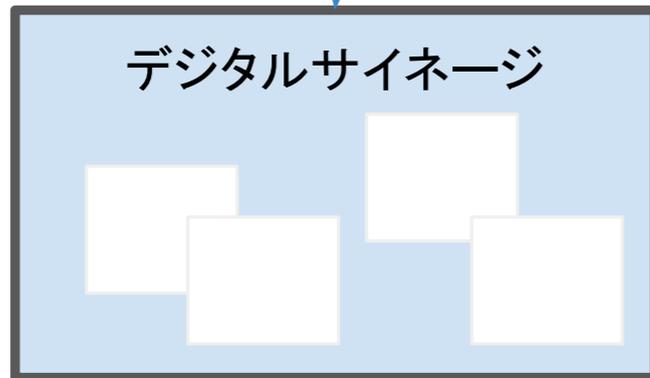
サイネージのデータベース

まちから: 議会、町内会、祭り、健康診断  
学校から: 運動会、文化祭  
企業から: 見学、イベント、特産品、求人

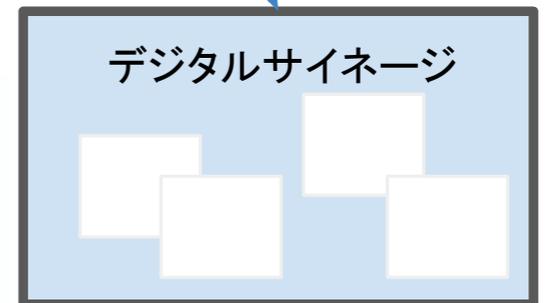
配信

配信

デジタルサイネージ



デジタルサイネージ



Ph3.

# 学校の情報を、親にも子どもにもダイレクトに知る まちの情報を、子どもも知る



まちからの情報:

議会、町内会、祭り、健康診断

各家庭の  
PCやタブレット

企業からの情報:

見学、イベント、特産品、求人

学校に関する情報:

時間割、持ち物、  
行事スケジュール、  
授業の記録



(基本計画の目標を入れる)

---

## <基本計画について>

3月・・・計画目標（何をつくる）

4月・・・配置計画（どこにつくる）

5月・・・平面計画（教室どうする）

6月・・・基本計画（全部の計画）

## <設計者選定>

4月・・・募集要項作成

5月・・・募集 → 7月業者選定

---

---

# ＜新しい学校を考える会＞

日時：4月25日(木)18時30分～

場所：町民センター中会議室

内容：基本計画骨子検討（計画提示）

参加：どなたでも（小中学生、町外者）

自治会、PTA役員、コミスク、

少年団、サークル、町内団体

---

---

# <保護者/住民/教職員説明会>

早来地区：5月9日(木) 町民センター

時間：8時30分～

内容：基本計画骨子 (案)

---